

◎第8回理事会(42.1.27)出席者:篠原会長,水野,酒井,最上各副会長,羽田専務理事,青木,飯吉,内林,久保,米谷,堺,佐藤,多谷,友田,成岡,成瀬,藤田,森垣,森本,横戸,吉田,渡辺の各理事,井関,橋内理事。議事録署名理事の決定:篠原会長,羽田専務理事,森本理事。A.報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他報告。4)八学会担当理事懇談会報告。5)八学会会長懇談会報告。6)昭和41年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の推せんまたは応募の状況報告。7)会員入退会報告。B.懇談:1月26日開催の委員長懇談会において委員会規程案の審議を行なったが,その模様について羽田専務理事より説明し,委員会のあり方等に関し意見の交換を行ない懇談した。C.その他:委員の委嘱について

- ① 論文編集委員会
委員(第2部会) 清水 達也 建設省河川局
*(第4部会) 宮田 一 国鉄鉄道技術研究所
- ② 海外連絡委員会
委員 松原健太郎 国鉄副技師長
- ③ 海岸工学委員会
委員 巖真 温 建設省河川局
* 森本 茂男 運輸省港湾局
* 坂井 秀正 建設省河川局
* 山下 博通 運輸省港湾局
- ④ 岩盤力学委員会
委員(第1分科会)
福竹 養造 電源開発KK
- ⑤ 会誌編集委員会
委員 松崎 彬彦 建設省中国地方建設局
* 佐藤 幸甫 建設省都市局

◎各種委員会

(1) 論文編集委員会(41.12.1)出席者:西村,嶋,池田部会長,ほか22名。議題:1)審査中論文の審査報告。2)新規受付原稿の審査委員の決定。3)研究ノート欄について。4)その他。

(2) 論文集部会長会(41.12.12)出席者:村上,都正副委員長,西村,嶋部会長,ほか2名。議題:1)各部会報告。2)論文集138号,139号登載論文の決定。3)研究ノート欄のページ数について。4)その他。

(3) 海外連絡委員会(41.12.13)出席者:伊藤委員長,ほか8名。議題:1)前回幹事会報告。2)Civil Eng. in Japan, 1967の編集について。3)その他。

(4) 日本土木史編集各編連絡者会議(41.12.14)出席者:高橋総幹事,ほか15名。議題:1)経過報告。2)執筆要綱について。3)執筆に際しての諸問題について。4)今後の各編ごとの連絡者会議の運営について。

(5) 会誌編集委員会(41.12.15)出席者:篠原会長,羽田専務理事,増岡委員長,ほか16名。議題:1)投稿原稿報告,審査。2)会誌第51巻編集の反省。3)昭和41年度懸賞論文入賞者賞状授与式挙行。4)その他。

(6) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会打合せ(41.12.16)出席者:河野主査,ほか3名。議題:鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の正誤表の取りまとめについて。

(7) 岩盤力学委員会第5回運営委員会(41.12.17)出席者:岡本委員長,畑野副委員長,ほか8名。議題:1)前回議事録について。2)各分科会報告。3)シンポジウム,講習会の報告。4)第1回国際岩盤力学学会会議について。5)今後の運営について。6)昭和41年土木学会賞候補推薦について。7)委員会規定作成の件。

(8) コンクリート委員会打合せ(41.12.17)出席者:関係者2名。議題:無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会開催について。

(9) トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会幹事会(41.12.19)出席者:関係者7名。議題:1)昭和41年度研究計画について。2)今後の運営について。

(10) 本州四国耐震設計小委員会(41.12.19)出席者:関係者3名。議題:省略。

(11) 土木製図基準改訂委員会(41.12.19)出席者:菊池委員長,ほか14名。議題:土木製図基準改訂版に掲載の各図面および折込み参考図についての検討。

(12) 軟弱地盤耐震設計研究委員会第3回幹事会(41.12.20)出席者:関係者12名。議題:1)地震観測について。2)SMACの記録解析について。3)地盤と振動とを関係するけたデータと文献について。4)荷重の偏心,傾斜について。5)今後のとりまとめ方法について。

(13) ダムコンクリート標準示方書改訂小委員会(41.12.20)出席者:国分委員長,関主査,ほか16名。議題:ダムコンクリート標準示方書改訂案の逐条審議。

(14) PC工法小委員会(MDC工法)(41.12.20)出席者:国分委員長,河野主査,ほか23名。議題:1)プレストレスコンクリート設計施工指針(案)MDC

工法(第6次案)の逐条審議。2)同指針案の編集について。3)その他。

(15) 本州四国第27回耐風設計小委員会(41.12.21)出席者:関係者31名。議題:省略。

(16) 大学土木教育委員会第6回幹事会(41.12.21)出席者:林委員長,高橋幹事長,ほか9名。議題:1)議事録の確認。2)理事会からの申入れ事項について。3)長期研究計画について。4)日本土木史「土木教育史」について。5)その他。

(17) 本州四国上部構造に関する専門部会打合せ(41.12.21)出席者:関係者4名。議題:省略。

(18) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会工場製品分科会(41.12.22)出席者:国分委員長,杉木主査,ほか11名。議題:鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)の逐条審議。

(19) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(41.12.22)出席者:関係者6名。議題:省略。

(20) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会打合せ(41.12.22)出席者:河野主査,ほか8名。議題:鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の逐条審議および正誤表の取りまとめ。

(21) フライアッシュ幹事会(41.12.22)出席者:関係者3名。議題:フライアッシュ長期試験の2カ年試験データのとりまとめを行なった。

(22) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会打合せ(41.12.23)出席者:河野主査,ほか3名。議題:鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の逐条審議および正誤表の取りまとめについて。

(23) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会打合せ(41.12.24)出席者:河野主査,ほか3名。議題:鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の逐条審議および正誤表の取りまとめについて。

(24) 岩盤力学委員会第3分科会幹事会(41.12.26)出席者:山本主査,岡本(陸)委員。議題:岩盤力学に関する文献目録原稿のとりまとめ。

(25) コンクリート委員会(41.12.26)出席者:国分委員長,ほか37名。議題:1)鉄筋コンクリート標準示方書改訂案の最終逐条審議。2)土木学会規準の改正および追加について。3)その他。

(26) 水理委員会水文学小委員会(41.12.26)出席者:井口委員長,ほか6名。議題:日本の水文学の今後のあり方につき打ち合わせた。

(27) 太径鉄筋に関する研究小委員会打合せ(41.12.26)出席者:樋口,村田の両委員,ほか7名。議題:昭和41年度太径鉄筋に関する試験実施の具体案につき打ち合わせを行なった。

(28) 本州四国基礎に関する専門部会上部構造に関する専門部会合同幹事会(41.12.27)出席者:関係者13名。議題:省略。

(29) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(41.12.28)出席者:関係者9名。議題:省略。

(30) 岩盤力学委員会幹事会(42.1.9)出席者:関係者4名。議題:1)昭和41年度土木学会賞候補推薦について。2)1967年度に派遣を希望する学術関係国際会議の推薦について。

(31) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(42.1.9)出席者:関係者9名。議題:省略。

(32) 文献調査委員会(42.1.9)出席者:松本委員長,ほか14名。議題:1)会誌52巻3号登載抄録の決定。2)解説記事について。3)その他。

(33) 本州四国連絡橋技術調査委員会第8回委員会・第12回基礎に関する専門部会・第14回上部構造に関する専門部会(42.1.12)出席者:関係者75名。議題:省略。

(34) 会誌編集小委員会(42.1.12)出席者:増岡委員長,ほか9名。議題:1)会誌原稿報告。2)会誌52巻3号編集の件。3)土木賞候補推薦の件。4)投稿要項改訂の件。5)特集計画について。6)次回講座について。7)その他。

(35) 本州四国耐震設計小委員会第43回幹事会(42.1.13)出席者:関係者16名。議題:省略。

(36) 第8回原子力土木技術委員会(42.1.16)出席者:左合委員長,ほか11名。議題:1)前回議事録の確認。2)昭和41年度土木学会賞候補推薦について。3)1967年度学術関係国際会議派遣者推薦について。4)第5回原子力総合シンポジウムについて。5)報告「米国の原子力施設における廃棄物処理について」ヨーロッパ関係(井上委員),アメリカ関係(筒井委員)。6)海洋汚染の問題について。

(37) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(42.1.16)出席者:関係者4名。議題:省略。

(38) 岩盤力学委員会第3分科会(第4回)(42.1.17)出席者:山本主査,ほか4名。議題:1)経過報告。2)委員の交代。3)運営委員会報告。4)話題提供「岩盤の伝播速度値測定法と現状における問

題点」武内委員。

(39) 出版企画委員会幹事会(42.1.17)出席者:春日屋,塚正副委員長,久保幹事長,ほか3名。議題:1)前回委員会報告。2)昭和41年度新規出版物の進捗状況について。3)現在進行中または企画中の出版物について。4)その他。

(40) 本州四国耐風設計小委員会第45回幹事会(42.1.18)出席者:関係者12名。議題:省略。

(41) 海岸工学論文編集小委員会(42.1.18)出席者:関係者4名。議題:1)編集小委員会のあり方。2)Coastal Engineering in Japan, 1967年掲載論文について。3)Coastal Engineering in Japan, 1966の編集作業。

(42) 土木製図基準改訂委員会(42.1.19)出席者:菊池委員長,ほか12名。議題:土木製図基準改訂版の図面原稿の最終審議。

(43) 土木図書館運営委員会打合せ(42.1.19)出席者:米元委員長,浅川幹事長。議題:本年度委員会業務および図書館予算等について打ち合わせを行なった。

(44) 論文集部会長会(42.1.19)出席者:村上委員長,西村,嶋,池田部会長,ほか4名。議題:昭和41年度土木賞候補論文について打ち合わせした。

(45) 本州四国連絡橋技術調査委員会第1回縮小委員会(42.1.20)出席者:関係者29名。議題:省略。

(46) 本州四国耐震設計小委員会第44回幹事会(42.1.20)出席者:関係者17名。議題:省略。

(47) 岩盤力学委員会第1分科会(第4回)(42.1.20)出席者:駒井主査,ほか19名。議題:1)ダム基礎岩盤の変形について。2)ダム基礎岩盤の強さの計算について。

(48) 岩盤力学委員会第2分科会(第5回)(42.1.20)出席者:高橋主査,ほか12名。議題:1)講演「膨張性地圧ならびに三方ヶ原農業水理事業の水路トンネルにおける土圧測定結果について」仲野委員。2)ずい道の適正覆工時期の研究について。

(49) 第104回耐震工学委員会(42.1.20)出席者:岡本副委員長,ほか11名。議題:省略。

(50) PC工法小委員会レオンハルト&レオバ工法打合せ(42.1.20)出席者:国分委員長,河野主査,ほか15名。議題:レオンハルトおよびレオバ工法小委員会の運営について。

(51) 土木図書館運営委員会(42.1.

20)出席者:米元委員長,ほか10名。議題:1)前回委員会報告。2)図書館予算について。3)フィルム・ライブラリーについて。4)図書館の利用について。

(52) 水理委員会常任幹事会(42.1.21)出席者:石原委員長,林副委員長,ほか9名。議題:1)Dr. Abbott氏講演について。2)1967年度に派遣を希望する学術関係国際会議の推せんについて。

(53) 吉田賞選考委員会幹事会(42.1.21)出席者:関係者3名。議題:昭和41年度吉田賞推薦書および吉田研究奨励金計画書の調整を行なった。

◎その他

(1) 日本地震工学シンポジウム(1966)運営委員会(41.12.22)出席者:武藤委員長,ほか5名。議題:1)決算報告。2)パネル,一般討論の編集方法について。3)外国,国内への寄贈について。

(2) 八学会担当理事懇談会(41.12.22)出席学会:土木学会,日本化学会,日本機械学会,日本建築学会,日本鉄鋼協会,日本物理学会,電気通信学会,日本工学会。出席人数:21人。議事:日本工学会社会長より白書ならびに会費改訂の必要性について詳細な説明あり,いろいろ懇談した。

(3) 八学会会長懇談会(42.1.20)出席者:八学会の会長全員および事務局責任者。議題:1)学術団体課税問題に関する陳情結果の報告。2)大学および大学院における教育について。3)日本工学会白書について。

支 部 だ よ り

◎中部支部

(1) 年次支部大会(41.4.23)
場 所:三重県津市市町村会館
参加費:87名
見 学:名阪国道

(2) 第1回役員会・第1回幹事会(41.5.21~22,長野県上諏訪)出席者:役員会:榎支部長,ほか20名,幹事会:杉山幹事長,ほか8名。議事:41年度行事 講習会・見学会について,見学:小渋ダム

(3) 第2回幹事会(41.6.14)出席者:杉山幹事長,ほか24名。議事:講習会・見学会・技術講座・研究発表会について。

(4) 第1回講習会(41.6.21~22)土木構造物の振動と安全性について
会 場:愛知県産業貿易館
受講者:189名

(5) 第3回幹事会(41.7.12) 出席者：杉山幹事長, ほか 26 名。議事：本部委員, 講演会・研究発表会について。

(6) 第1回見学会(41.7.15)

見学場所：衣浦臨海工業地域

参加者：70 名

(7) 第4回幹事会(41.8.16) 出席者：杉山幹事長, ほか 24 名。議事：講演会・見学会・研究発表会について。

(8) 第2回見学会(41.8.26)

見学場所：名鉄・バスターミナル

参加者：150 名

(9) 第5回幹事会(41.9.13) 出席者：杉山幹事長, ほか 20 名。議事：講習会・科学研究費の補助について。

(10) 第1回技術講座(41.9.28)

土庄並びに間隙水圧測定法について

会場：名古屋大学

受講者：119 名

(11) 第1回講演会(41.10.7)

「中部経済圏開発をめくって」

「都市再開発について」

会場：岐阜市市町村会館

聴講者：87 名

(12) 第2回役員会・第6回幹事会(41.10.19)

出席者：役員会；榎支道長, ほか 14 名

幹事会；杉山幹事長, ほか 14 名

議事：下半年行事予定；研究発表会

見学会・講習会・42年度支部

大会について

(13) 第2回講演会(41.10.28)

「西独を主とした新しい橋梁について」

「斜材をもつアーチ系橋梁について」

会場：愛知県産業貿易館

聴講者：72 名

(14) 第7回幹事会(41.11.15)

出席者：杉山幹事長, ほか 19 名

議事：講習会・見学会について

(15) 研究発表会(41.11.18)

会場：金沢大学

研究発表：46 題

聴講者：167 名

(16) 第3回見学会(41.12.2)

見学場所：東名高速道路

参加者：116 名

(17) 第3回役員会・第3回幹事会(41.12.9)

出席者：役員会；榎支道長, ほか 23 名

幹事会；杉山幹事長, ほか 21 名

議事：第4回半年行事予定；講習会

・見学会・42年度行事について

(18) 評議員会(42.1.10) 出席者：榎

支道長, ほか 11 名。議事：土木学会功

績賞候補・役員候補者選考委員会委員・

42年度支部長について。

(19) 第9回幹事会(42.1.10) 出席者：

杉山幹事長, ほか 22 名。議事：見学

会・講習会について。

◎関西支部

(1) 海外事情講演会(42.1.18, 好文倶楽部)

題目と講師：

1. 最近の長大橋梁について

京都大学教授 工博 小西 一郎

2. 交通事故防止対策と道路状況

(英国の対策と関連して)

大阪府警察本部交通部長

警視長 竹岡 勝美

3. 海外工事の問題点

(株)大林組土木本部

工務部長 平田 昌三

海外工事部

営業課長 中村 統一

参加者：111 名

(2) 会員懇親会(42.1.18, 好文倶楽部)

参加者：70 名(うち招待関係 12 名)

参加費：500 円

(3) 大阪都市計画講演会(42.1.24, 大阪科学技術センター)

題目と講師：

1. 大阪市のマスタープランについて

大阪市総合計画局計画部長

大塚 清

2. 街路のOD調査の結果と街路の高

能率化について

大阪市総合計画局築港深江線

建設室長 寺田 久弥

3. 街路事業とその問題点

大阪市総合計画局築港深江線建設室

主幹 尾山 一郎

4. 大阪府下における流通業務街地

の整備について

大阪府土木部計画課長 石橋 一郎

5. 阪神高速道路の延伸計画について

阪神高速道路公団計画部

計画第一課長 北村 正也

参加者：131 名

(4) 第9回幹事会(42.1.13, 中央電気倶楽部) 出席者：小西支道長, 伊藤幹事長, ほか 12 名。

(5) 土木学会賞候補支部推薦 詮衡委員会(第2回)(42.1.13, 中央電気倶楽部) 出席者：伊藤幹事長, ほか 8 名。

(6) 第8回騒音振動委員会(42.1.17, 好文倶楽部) 出席者：委員 5 名, 畑中幹事長, ほか 幹事 5 名。

(7) 騒音振動委員会幹事会(第5回)(42.1.17, 好文倶楽部) 出席者：畑中幹事長, ほか 5 名。

(8) 騒音振動委員会委員交替につ

て

委員 荻野 仁氏近畿地建豊岡工事事務所長

に転動のため, その後任として近畿地建第

二阪神国道工事事務所長 片山重夫氏に委嘱し

た。

編集後記

今回委員の皆様のお手元にお届けすることができた本誌・第52巻第3号は, 昨年(41)の3月号とは編集の仕方が異なっていることにお気づきのことと思います。昨年まで, 大会直前に別冊でお届けしていました大会・年次学術講演会のプログラムが本号にのりましました。郵税の値上げも別途発送を中止させた一因でもあります, 何といたっても700件以上の発表論文が年次学術講演会に集中する論文ラッシュが昨年, 今年と続き, 近々1000題の発表論文も予測されるときに, 昨年までどおりの大会報告形式を会誌が維持することが, 困難になったのが原因のひとつです。昨年まで, 毎年8月号誌上に掲載していた講演内容紹介記事を中止して, 総括報告を充実させる予定です。内容紹介記事掲載を中止したために, プログラムを会誌に収録, 記録としても止めることとなったわけです。本形式に切り

かえるに当りましては, 会誌編集委員をはじめ, 学術講演連絡委員会, 担当理事, その他関係者の方々にご意見を伺って編集委員会としての判断を下したわけです。いろいろご意見のあるところかと思いますが, この新方式を温かく見守り, 育て上げて下さい。本形式の採用により大会特集が7月号のみで終了しますので, 8月号はより充実した記事で新しいも新たに, お届けできることを願っております。

本号には, このほかに最近とみに注目を集めております写真測量について, 道路設計部門を限定しましたが論文を三編掲載しました。本論文三編掲載に際しましては東京大学丸安教授に特にご無理をおかけしました。お礼申し上げます。会誌4月号は, 久しぶりに投稿原稿を中心に編集する予定です。各部門から寄せられた力作にご期待下さい。(本山 薫・記)